

# 就任と新年のご挨拶

思いやりと感謝、知恵と工夫で力強い町の活性化をめざします

剣淵町長 早坂 純夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられましたこと心からお喜び申し上げます。

町民の皆様には日ごろから町政に対する深いご理解と支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私にとりましては、昨年行われました町長選挙において、町民の皆様の温かいご支援を賜り、当選の栄に浴し、4年間の町政を担うことになりました。皆様の負託に誠心誠意心えるべく努力する決意であります。

同時に執行されました町議会議員選挙において、当選されました町議会議員の皆様におかれましては、心からお慶び申し上げます。

また、2期8年間、剣淵町の発展にご尽力を賜りました佐々木前町長にたい

しまして、衷心より敬意と感謝を申し上げます。次期でございませぬ。

昨年は、ゲリラ豪雨、干ばつ、猛暑と気象変化の多い一年であり、農産物は作物種により出来高にばらつきがあり、農家経済に影響ある年となりました。町政においては、町民一丸となりロケ参加の映画「じんじん」が全国各地で上映会が催される運びとなってきました。このことは、剣淵町の宣伝効果が計り知れなく、観光客増加も見込まれると確信しています。また、公営住宅や高等学校寄宿舎、有害鳥獣焼却施設建設等の整備が行われましたことは将来への基盤となる限りであります。

「対話と信頼」「公平と公正」「安全で安心」「英断と実践」を基本に誰もが豊かな日常生活が享受でき安心して住み続けられる、より良い「絵本の里けんぶち」を創るべく、取り組んでいくことが極めて大切なことと考えています。

平成26年度の事業予算については現在予算編成中でございますので概要については懇談会等でお知らせいたしたく存じます。

ここでは、私の基本的な政策方針について若干申し上げます。

町民が主役のまちづくりは、皆様との真の対話と行政に寄せられる信頼で成

り立つと考えております。そこから生み出される協働のまちづくりは、必ず町の活性化に結び付くと考えます。このためには、町民の皆様との懇談の機会を持ち続けることとでございます。各種懇談会・プロジェクト会議・計画策定会議等継続する分野も含め、積極的に進めていくと考えてございます。

政府は昨年11月に国の減反政策を大きく転換する閣議決定を行いました。このことは、T P P問題を含め、基幹産業である剣淵農業に大きな影響がございます。転作率の高い農業にとり真に重要な課題であります。関係機関・関係団体と歩調を合わせ、他府県とは違う北海道農業の特質を救済策に反映していける運動を展開しなければなりませんし、行っていく考えであります。また、町内においては、地域の特徴を生かした観光誘致、交流事業、特産品開発や加工商品化等、活発な活動がなされています。これらの機運は、農業の六次産業化に繋がるものであり、起業支援の施策を制度化したいと考えています。町なみ整備により商店街環境が良くなりましたが、時代の変遷とともに空き店舗、遊休地等が増える傾向にあります。店舗の減少は商店街の形勢にも影響を与えています。関係団体と十分連携を図り、起業支援等も含め活性化

化策を講じていきたいと考えています。地方自治体を取り巻く行財政は、極めて厳しく不透明な状況にあります。健全財政の堅持は町政を担う上で極めて重要なこととあります。第5期総合計画では、前期4年目に入ります。ローリング結果の推移を踏まえ、財政規模に見合う計画を推進してまいります。幸い剣淵町は、先人の労苦によりインフラ整備が8割方整っていると云っても過言ではありません。施設の長寿命化等の改修改善に努め、利用される町民の皆様利便性を図りたいと考えています。

剣淵町では、地域福祉計画、関係団体では地域福祉実践計画を策定中でございます。これらの計画に基づく福祉サービスの総合的な構築を図る考えであります。また、町立診療所の診療環境拡充も図りたいと考えています。

まちづくりと地域の発展には未来を担う人材の育成が大切と考えています。それぞれの進むべき道の達人と成っていただく方々は将来の町の財産となります。継続した人材育成を図りたいと考えています。

「思いやりと感謝」は、現代社会に忘れられつつある言葉と考えます。お一人おひとりの心の中に思いやりの心、感謝の心が醸成されることにより、絵本の里けんぶちにふさわしい心温かい町になると確信しています。

協働のまちづくりは、町民の皆様のご理解とご協力がなければ達成できないことと考えます。今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

# 退任の「挨拶」

前劍淵町長

佐々木 智雄



退任に当たり一言お礼のご挨拶を申し上げます。

平成17年12月町長に就任して、2期8年の長きに亘り町民の皆様は大変お世話になりました。心からお礼と感謝を申し上げます。

私は、平成17年11月の町長選挙に立候補し、無投票で初当選して以来、2期8年間町政を担わせて頂きました。

町民はじめ議会議員の皆様や、町職員の皆様は温かいご支援とご協力を賜り、大過なく町長職を全うすることができました。また、国や道の監督官庁はじめ各関係機関の皆様には、特段のご指導ご厚情を賜りました。皆様に対し心から感謝を申し上げます。

この間、9期36年間の長きに亘り町長を務め、劍淵町の発展に多大な貢献をさ

れました名誉町民で前町長の大澤秀了様が、突然の事故で亡くなられました。また、情熱を持ってまちづくりに尽くされた、ご子息の大澤秀磨様までが、昨年7月に若くして亡くなられたことは、誠に悔しく残念でなりません。親子二代にわたり劍淵町の発展に尽くされたご功績は誠に大きく、いつまでも後世に語り継がれるものと思います。お二人のご功績に心から感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

私は、この2期8年間、劍淵町の発展に全力で、取り組んでまいりました。1期目には、対話と信頼による協働のまちづくりをはじめ、行政改革による健全財政の堅持、農業の振興と商業の活性化、少子高齢化対策の推進、施設の有効活用等を掲げ、2期目には、健全財政と信頼による協働のまちづくりをはじめ、魅力と活力あるまちづくり、安全安心なまちづくり、豊かな心を育むまちづくりを掲げながら、議員はじめ職員皆様の理解と協力を頂き積極的にまちづくりを進めてまいりました。

協働のまちづくりについては、町民が行政に頼らず自分たちでできることは自分たちで始めようとする意識が定着してきました。各分野で色々な活動団体が生まれたことは大変嬉しい限りであります。

財政状況については、経済を向上するための国の施策も有りましたが、行政改革と経常的な経費節減に積極的に取り組んできた結果、基金の取り崩しも比較的少なく、健全財政の維持に努めることができました。

基幹産業の農業の振興についても、国の施策が頻繁に変わる中において、農業基盤整備事業は継続して実施しておりますし、農業者に対する支援も要請に応じてまいりました。後継者担い手対策にも取り組んでまいりました。特に、農業に魅力を感じてUターンする若者が多くなってきたことは、大変素晴らしいこととあります。昨年は、じゃがいもプロジェクトを立ち上げました。特産品開発に取り組むグループも誕生し、その意気込みが強く感じられるようになりました。

商工業におきましても、長い間の懸案でありました街並み整備の完成を観ることができました。大通りの整備はもとより、まちの駅、イベント広場、さらさらガーデン等の整備と併せて、店舗近代化事業の実施により、全体が近代的な街並みに変貌したことは、誠に嬉しく思います。新築・改築事業支援、プレミアム商品券の発行支援も進めてまいりました。今後も、商工会を中心に商工業の皆さんが創意工夫して、一層賑わいと潤いある商店街づくりを進めて頂きたいと思っております。

劍淵町は、依然として少子高齢化が進み、人口の減少に歯止めがかかりません。その対策に、君の椅子の贈呈、学童保育所の建設、保育所の一元化、子育て支援センターの整備等を進めてまいりました。

劍淵町は、教育施設はじめ公共施設の整備は他町村と比べて進んでいると思えます。新たな公共施設の建設はできる限り控えてまいりました。そうした中に

おいても、小・中・高校舎の安全安心な環境づくりのため耐震補強工事をはじめ、道の駅や西岡ダム建設、保育所や高等学校寄宿舎の増築、公営住宅建替えなど、必要最小限の施設整備を行ってまいりました。既存施設の有効活用では、旧土地改良区事務所をりんどう交流館として整備したことは、町民にも大変喜ばれているところであります。

合併した射水市、さぬき市と改めて友好都市盟約の締結を行いました。また、ペルー共和国パルカマヨ区との姉妹都市盟約を締結し、ペルー国を訪問いたしました。アルパカ牧場や映画「じんじん」の影響により観光客が増えてきております。特に、映画「じんじん」は、これから全国の市町村で上映が行われますと、ロケ地を訪れる観光客が増えてまいります。そうした人々を迎える心構えが大切で、劍淵町だけで受け入れるのではなく、道北地域の観光振興につながるように、市町村が連携して取り組んで行くことが必要だと思っております。

この8年を省みて、色々と申し上げましたが、私に期待しご支援下さいました皆様に、心から感謝と御礼を申し上げます。

私の意思を引き継いで町長に立候補し、見事に初当選を果たされました早坂純夫氏に対し、心から就任のお祝いを申し上げますと共に、今後劍淵町の素晴らしいまちづくりを期待いたします。私は、今後一住民として、絵本の里劍淵町の発展を見守ってまいりたいと思っております。

長い間お世話になり、本当にありがとうございました。